



第57回 さっぽろ雪まつり

2月6日(月)～2月12日(日)

特集



さとらんど会場の開場時間は、午前9時～午後5時

さとらんどで雪まつり開催!

国際的なイベントを東区で行います

銀世界広がる

さとらんど会場

真駒内会場の終了によって新たに誕生した「さとらんど会場」。

さとらんど交流館前の広場では、これまでの雪まつり会場とは違った、市民の皆さんが企画する参加型の雪まつりを開催します。

また、雪の迷路や雪だるま作りなどもあり、楽しめます。

東区では、連合町内会を中心として、各団体がボランティアとして参加し、地域で雪まつりを盛り上げていきます。しばらく雪まつりに行ってない方も、今年は「さとらんど会場」に行くと、雪に触れ、思いっきり遊んでみませんか。

さとらんど会場については、本誌6・7ページで詳しく紹介しています。

地域でも雪まつりを盛り上げます!

札幌地区の皆さんは、雪まつり会場で「竹スキー体験」を企画運営します。また、三角点通をスノーキャンドルで彩ります。スノーキャンドル作りに協力してくれる方を募集しています。詳しくは札幌まちづくりセンター(☎788・3608)へお問い合わせください。また、栄東地区でも、スノーキャンドルを作ります。子どもたちの参加をお待ちしています。詳しくは、栄東まち

づくりセンター(☎711・2203)へお問い合わせください。

雪まつりの歴史

毎年、約220万人の観光客が訪れるさっぽろ雪まつりは、1950(昭和25)年、市内の中高校生が大通公園に6つの雪像を造ったのが始まりです。



↑札幌地区ではまちづくりフォーラムを行い、雪まつりの企画を話し合いました